北海道建設新聞

2012年(平成24年)5月2日（水曜日）

増毛山道の会

山道サミット開催など

総会で12年度事業計画決める

【留萌】増毛山道の会（伊達東会長）は4月28日、2012年度通常総会を開いた。外部識者を交えて増毛山道の全線供用や一般開放に向けた整備・維持などについて話し合う「増毛山道のあり方検討協議会」の設置、留萌に道内各地の山道関係者らを集めた山道サミット開催など事業計画を決めた。

同会は、増毛と浜益を結んだかつての交易ルート・増毛山道の歴史を後世に語り伝え、復元して観光資源に活用しようと活動を展開しているNPO法人。

伊達会長は「昨年のアンケート結果でも、山道を早く歩きたいとの声が多く寄せられ、期待も高まっている。だが残る石狩市浜益区幌までの約16㌔のやぶ刈りは、資金、体力に加え地権者との交渉の問題もあり、厳しい状況。これらについて話し合うとともに、増毛山道だけでなく道内の各山道と連携してPRしていきたい」と述べた。

議事で決議した12年度事業計画には、検討協議会の設置や山道サミットの10月開催に加え、会員増強と会費増額、石狩側の地権者との交渉、地図入り案内パンフレット作製や増毛山道豆辞典の増刷、体験トレッキング継続と増毛町別苅―岩尾間のササ刈りなどを盛り込んだ。

山道全線の開通に向けた事業展開を訴える伊達会長